

# 篠ノ井高等学校 定時制だより

～ 自分らしくいられるために ～

令和4年10月11日発行

## 定時制の「総合的な探究の時間」

篠ノ井高校定時制では、4月より「探究学習」を全校で継続しています。今年の探究学習は「ミ探究」からスタートしました。今年の「ミニ探究」のテーマは『成年年齢引き下げについて』と『SDGs（持続可能な開発目標）』でした。自身で選択したテーマを調べ探究しレポートにまとめ表現するところまで行いました。

その後、生活体験発表大会の原稿を作成し、各学年ごと発表を行い、学年の代表者による校内選考大会まで行い、学校代表として北信大会に出場する代表者の選考を行いました。

その後、夏休みからは「職業探究」が始まり、職業調べから自分に適した職業を調べ発表します。

探究学習のラストは生徒会誌『若鮎』の原稿作成で一年間の探究学習を終了します。



## キャリア教育講演会

～卒業生から職業観を学ぶ～

定時制「探究学習」の一環として、夏休み中の8月8日（月）にキャリア教育講演会が行われました。今年、本校定時制の卒業生4名（就職2名+進学2名）が来校し、高校時代の思い出や現在の仕事や勉強の様子を一人ひとりが話してくれました。

その後、在校生からの質問に答えながら、生徒のキャリア教育が進められました。就職した先輩から「高校時代に、もっと漢字を勉強しておけばよかった。」「もっと語彙力を増やしておけば…」など本音も飛び出し、後輩を激励してくれました。

進学した先輩からは「とにかく大変、一日10時間勉強」「実習とレポートが…」と生々しい現実を聞け、貴重な刺激となりました。



## 第56回北信高等学校定時制通信制 生活体験発表大会

生活体験発表北信大会が9月9日（金）にホクト文化ホールを会場に行われました。会場に発表者が集まり開催するのは3年ぶり、残念ながら定時制通信制に通う全生徒の参集はかありませんでしたが、北信地区の定時制通信制の学校代表者7名の参加がありました。篠ノ井高校定時制からは、校内の選考を勝ち上がった4年生の松本俊介君が「篠ノ井高校での5年間」のタイトルで発表しました。とても落ち着いた発表態度で堂々と自身の生活体験を語り、見事『優良賞』を獲得しましたが残念ながら県大会への出場権は得られませんでした。最優秀賞を獲得した長野西高校望月サテライト校の生徒と優秀賞の長野吉田高校戸隠分校の生徒が10月8日（土）松本市中央公民館（Mウイング）で行われる県大会に進みます。この大会は全国大会まで続き、今年は11月20日（日）に東京都で行われます。



## 秋季体育大会 バドミントン



2学期中間考査が終わった9月27日（火）定時制「秋季体育大会」が行われました。今回の種目はバドミントン、事前にペアが決められ予選リーグから順位決定リーグと行われました。男女のペアもあれば、学年をまたぐペアもあり…もちろん対戦も学年は全く関係なしの対戦です。篠ノ井高校定時制らしい、本当にアットホームなスポーツイベントになりました。



## 『校外学習』新潟県へ

9月30日（金）定時制の『校外学習』が行われました。コロナの影響でここ2年間行われていない学校行事でした。今回は、感染対策を講じ実施することができました。今回の行き先は新潟県「上越水族館うみがたり」「うみてらす名立（昼食）」「フォッサマグナミュージアム」の各所を見学しました。本校定時制では『他者と協働して行動する力』『自主的に社会参加できる力』『多様な人とコミュニケーションをとれる力』等の育成を目指しています。そのためには学校行事の意義は大きく、特にこの校外学習は生徒の成長にとって大切な行事と捉えています。

まずは、上越水族館を目指し出発、好天に恵まれバスガイドさんの「北信五岳」の説明を聞きながら新潟県に入り、綺麗な海と青空を眺めながら水族館に到着しました。巨大水槽を3階から1階まで見学し、たくさんの魚とクラゲに癒され、買い物をしたり、餌やりをしたり…楽しく過ごし、最後に記念写真。



うみてらす名立で美味しい昼食をいただき、佐渡を探して海を眺めましたが…残念。その後、フォッサマグナミュージアムへ向かいました。日本列島の誕生から、我々が住むフォッサマグナの歴史を学び、各種の石を見て見聞を深めました。昔は海の中であったフォッサマグナの上に、現在は日本の人口の3分の1が住んでいるそうです。

